

第5回本明川ダム建設事業 環境影響評価技術検討委員会 議事要旨

日 時：平成21年2月24日（火）13:30～17:00

場 所：L&L ホテルセンリュウ 4F 陽光の間（諫早市）

主な意見

○ 水環境、植物（河川域）、動物（河川域）、生態系（河川域）についての予測、保全措置の検討結果

【水環境】

- ・ 耶馬溪ダムの検証ダムとしての妥当性や検証ダムのシミュレーションへの反映、環境保全措置の曝気循環や選択取水の妥当性についても再度、コメントを追加し整理すること。
- ・ 数値シミュレーションをどういう状況下で実施したのか、また、平均的な評価だけでなく、顕著なときの状況についても適切に評価することが重要である。
- ・ 基礎方程式やパラメータの評価について、検討できる情報を提示すること。
- ・ 説明資料に章立てがないので、どこが関連しているのか分かりやすくすること。
- ・ グラウトのような一般の人が分かりにくい専門用語については、用語集を作成すること。
- ・ 事後調査については県条例に基づく調査としては実施しないが、事業者独自のフォローアップは実施いく。

【植物】

- ・ 1/10、1/5や水位変動や冠水頻度の変化等の表現を分かりやすくすること。
- ・ 土砂供給が50%～60%と減少するが、生息環境の変化は想定されないと断定されているがその根拠を記載すること。
- ・ ゴキヅルの確認地点については、再度、調査データとの確認を行うこと。
- ・ 種への影響、直接改変や直接改変以外、河川域での評価する図面等、特にわかりにくい所については脚注を入れて、図や表がわかりやすくなるよう作成すること。

○今後の予定

- ・ 次回委員会は、今回説明していない、動物（河川域）、生態系（河川域）を先に説明し、その後今回の指摘された事項について説明する。
- ・ 3月19日（木）とし会場については同ホテルを利用するが、時間等については、後日報告する。